

営農情報

酪農農家の現場で学ぶ 千厩高校が校外学習会

千厩高等学校は11月18日、畜産について校外学習会を行いました。同校生産技術科2年生29人の生徒が、獣医師による座学講義と酪農家を訪れ畜産農家の現状を学びました。

座学講義では、JA畜産事業課の村上重敦獣医師が家畜人工授精と受精卵移植について説明を行い、生徒は「ストローに入った凍結精液は、いつまで保管できるのか」など質問をして理解を深めました。その後、千厩町内のホープランドファームへ移動し、オーナーの伊藤史博さんより経営概況や牛舎内の省力化設備などについて「産乳量、そして乳成分バランスが収入に影響してくる。安定した搾乳ができるように、牛の体調に合わせた設定をしている」と説明を受けました。



ホープランドファームの伊藤さんから畜舎設備の説明を受ける生徒

部会入って新規栽培を 園芸だよ!全員集合

JAは11月5、6の両日、JA西部、東部営農振興センターの2会場で新規栽培者向け講習会を開きました。37人が参加しJA園芸課職員からトマトやナス、小菊など園芸主要8品目の栽培特徴や、JAの地域農業振興支援事業「黄金の郷づくり推進対策事業」の説明を熱心に聞き入っていました。

6日の東部営農振興センター会場では、千厩町の藤野寿美さんが小菊生産者を代表して体験発表し「最初は何も分からなく不安だったがJAの部会に入ると指導もはっきりしてくれた。部会員同士のつながりで、生産意欲と技術向上ができた。目標を立てて生産を計画してほしい」と新規栽培者に期待を込めました。



品目ごとの相談を受ける担当者(右手前)と藤野寿美さん(右奥)

太平物産(株)製造肥料の出荷停止と代替肥料への切り替えについて

このたび、当JAがJA全農から仕入れた肥料のうち、太平物産(株)の製造した肥料が、登録設計通り製造されていなかった事実が判明いたしました。

組合員の皆様には、大変ご迷惑とご心配をおかけいたしました。

当JAで取扱のある商品は以下の4銘柄となっております。

27年度は、12件・63袋を供給いたしました。該当農家の皆様にはJA職員が巡回して、謝罪した上で11月中旬に返品交換対応いたしました。

取扱肥料名

・太平いちご配合 ・カニガラ有機S-8号 ・アズミンUF苗床複合 ・ベストシェル

今後、供給する資材に万全を期してまいりますので、何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

生産資材
ひろば

お詫びと訂正

10月号の生産資材ひろばにおいて、「年末年始(12月30日～1月3日)は休業いたします」は、「年末年始(12月31日～1月3日)は休業いたします」の誤りでした。

詳しくは20ページをご確認ください。